

## 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	規定上適切なスペース確保ができていますが活動内容によっては狭く感じる時がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	規定上は適切な配置数だが活動の内容や子どもの人数によって少なく感じる時がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	4	集団療育室が1部屋しかないが区切ることで小スペースを設けるなど改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	3	日々の清掃は徹底している。 集団療育、運動療育、言語療育ごとに部屋を整えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	経験年数によって意見の出し方などに差がある。 経験に関係なく全職員が対等な立場で参画できるように改善していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	6	今回が初めてである。保護者からの評価を真摯に受け止め、よりよいサービス提供をしていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		6	今回が初めてである。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	今後、外部評価も取り入れてよりよい事業所にしていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		各職員がスキルアップの為に各研修に参加している。今後も継続していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1	各職種が初期評価を行ない支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2	各児や保護者に合わせた支援内容を設定させていただいている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1	支援計画に沿った支援を行なっている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4	大きな活動以外は各職員に委ねている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	担当職員が創意工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	6		保護者のニーズや子どもの成長に合わせて作成している。今後も継続していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17		6	皆無ではないが必ずできているわけではないので今後は改善していく。
	18	1	5	皆無ではないが必ずできているわけではないので今後は改善していく。
	19	5	1	日々のケア記録などを用いながら支援について検討・改善につなげている。
	20	4	2	最低6か月毎に行なっている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	4	2	該当児が少ないが参画している。
	22	5	1	必要に応じて連携している。
	23	0	6	該当児の利用がない。
	24	0	6	該当児の利用がない。
	25	5	1	ケア会議を行なっている。
	26	5	1	ケア会議を行なっている。
	27	2	4	地域内での研修などを通して他事業所の職員との意見交換等を行なっている。
	28	1	5	外出先で声掛けをする場面はあるが企画としての交流機会はなかったので今後はそのような場を設けていきたい。
	29		6	今後、参加を検討していく。
	30	6		送迎時、面談時等にできている。
31	3	3	PECSなど家庭でも取り組みやすい技法をお伝えさせていただいてる。	
32	4	2	契約時に口頭と書面で説明させていただいてる。	
33	5	1	必ず行なっている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	職員のスキルによって差があるので全職員が同じ対応ができるようにしていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	餅つきなどの保護者参加型の企画を数回行なった。今後も継続していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	可能な限り申入れがあった時に対応させていただいている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		ブログで活動の様子を紹介している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		できている。今後も継続する。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		各児、各保護者に合わせた対応が取れている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	今後、検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2	マニュアル作成や職員への周知はできている。保護者に対する周知についても徹底していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		可能な限り毎月避難訓練をしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	1	契約時に保護者から聞き取りをしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		全職員に周知している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		全職員が常時確認できるようにファイリングしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		内部研修・外部研修を適時行なっている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2	身体拘束せざるを得ない状況が発生していないが、契約時に口頭と書面で保護者に説明させていただいている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。